

Course number		U-LAS06 20002 LJ41					
Course title (and course title in English)		思想と法 Law and Legal Thoughts		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Kyoto University Not fixed	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・Second semester	
Days and periods		Tue.3		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
現代日本に生じたいくつかの社会問題とそれに対する法的・政策的対応を紹介します。具体的な諸事例・諸事件を用いながら今日の法制度の基本構造および理念にさかのぼり、その意義・役割および難点・課題への理解力を養います。							
[Course objectives]							
身近に見られるさまざまな社会事象の背景に潜在する法律上の問題への想像力、さらに法律上の諸問題を考えるにあたって必要とされる原則や政策に対する洞察力を身につけることをめざします。							
[Course schedule and contents]							
扱う可能性のある主題は次のとおりです（各2～3回、適宜取捨選択します）。 授業回数はフィードバックを含め全15回です。							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 刑事司法に対する不満とその「改正」：「被害者の権利」と訴訟手続の改正 ・ 「残虐な刑罰の禁止」と不可視化の代償：受刑者処遇と監獄法改正 ・ 「景観」は誰のものか？：マンション訴訟と「景観権」 ・ 「公教育」の動揺：学力テストと学校選択をめぐる論争 ・ 親密圏に介入する法：ストーカー規制法と「法」の限界 ・ 「参加と熟議」の諸相と相克：国民投票・住民投票の要求と代表制の意義 							
[Course requirements]							
None							
[Evaluation methods and policy]							
期末にレポートを課します。講義内容の理解（全体の6割）と独自の調査・考察の成果（全体の4割）の両面から判定します。							
[Textbooks]							
Not used 教科書・プリントの類はありません。板書と口頭での説明のみで講義をすすめます。							

Continue to 思想と法(2)							

思想と法(2)

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

講義中に随時紹介します。

[Study outside of class (preparation and review)]

講義内容をなるべく予断なく受けとめることができるよう、清明な心持ちで教室にお越しください。復習に際してはなるべく早く講義の詳細を忘れ、最も肝要と思える核心部分のみを頭に残すようつとめてください。

[Other information (office hours, etc.)]

質問・苦情・要望・相談・面談の申し込み等はnasu.kosuke.6a@kyoto-u.ac.jpにて申し受けます。

[Essential courses]